



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 丸紅建材リース株式会社
 コード番号 9763 URL <http://www.mcml-maruken.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 栗山 章司
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名) 梶谷 誠 (TEL) 03 (5404) 8200
 四半期報告書提出予定日 2019年8月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,830	△4.6	63	△78.8	149	△62.1	117	△61.9
2019年3月期第1四半期	5,062	1.6	301	56.2	395	25.4	308	23.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 80百万円 (△75.6%) 2019年3月期第1四半期 330百万円 (22.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	35.21	—
2019年3月期第1四半期	92.40	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	32,698	13,087	40.0
2019年3月期	32,503	13,207	40.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 13,087百万円 2019年3月期 13,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	2.00	—	60.00	—
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	70.00	70.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2019年3月期中間配当金2.00円は創立50周年記念配当であります。

(注3) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2019年3月期の1株当たり中間配当金は当該株式併合前の金額を記載し、年間配当金合計は「—」としております。株式併合を考慮した場合の1株当たり中間配当金は20.00円、1株当たり年間配当金は80.00円となります。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	21,900	0.2	730	△20.1	1,150	△14.0	870	△14.4	261.01

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	3,429,440株	2019年3月期	3,429,440株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	96,225株	2019年3月期	96,211株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	3,333,225株	2019年3月期1Q	3,333,571株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)におけるわが国経済は、堅調な企業業績や設備投資、雇用・所得環境の改善が見られるものの、米中貿易摩擦に伴う海外経済の減速リスクによる影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する建設業界におきましては、首都圏での大型プロジェクト案件を中心に建設需要は堅調に推移したものの、労働力不足や鋼材価格・運送費等のコスト上昇の影響が続いております。

このような環境下、当社グループの当第1四半期の業績は、売上高48億30百万円(前年同期比2億31百万円、4.6%減)、営業利益63百万円(同2億37百万円、78.8%減)、経常利益1億49百万円(同2億45百万円、62.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億17百万円(同1億90百万円、61.9%減)と前年同期比で減収減益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①重仮設事業

首都圏を中心に賃貸稼働量・販売量が前年比で微減となり、売上高は38億83百万円(前年同期比29百万円、0.8%減)、セグメント利益はコスト上昇による収益の圧迫を受け、2億10百万円(同1億87百万円、47.1%減)となりました。

②重仮設工事事業

受注済工事案件の進捗遅れ、着工遅れ等により売上高は5億76百万円(同70百万円、10.8%減)、セグメント利益は16百万円(同6百万円、29.1%減)となりました。

③土木・上下水道施設工事等事業

官庁工事の受注が伸び悩み、工事の進捗も遅れたことにより、売上高3億69百万円(同1億31百万円、26.3%減)、セグメント利益28百万円(同33百万円、54.0%減)となりました。

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の増加額8億8百万円、電子記録債権の増加額1億83百万円、商品の増加額2億19百万円と受取手形及び売掛金の減少額10億78百万円などにより、前期末比1億95百万円増の326億98百万円となりました。

負債合計は、借入金の増加額12億30百万円と支払手形及び買掛金の減少額9億58百万円などにより、前期末比3億14百万円増の196億10百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益1億17百万円の計上による増加と配当金1億99百万円の支払による減少などにより、差引前期末比1億19百万円減の130億87百万円となり、自己資本比率は40.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は期初予想通り進捗しており、現時点において、2019年5月10日公表の2020年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	665	1,473
受取手形及び売掛金	6,606	5,527
電子記録債権	2,197	2,380
建設機材	10,203	10,163
商品	481	700
材料貯蔵品	261	259
未成工事支出金	101	66
その他	182	266
貸倒引当金	△59	△42
流動資産合計	20,640	20,797
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,027	8,027
その他(純額)	1,007	1,048
有形固定資産合計	9,034	9,075
無形固定資産	10	14
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	115	121
その他	2,722	2,710
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	2,817	2,811
固定資産合計	11,863	11,901
資産合計	32,503	32,698

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,086	6,127
電子記録債務	1,247	1,396
短期借入金	2,700	3,700
1年内返済予定の長期借入金	1,670	1,690
未払法人税等	204	43
引当金	249	346
その他	1,695	1,666
流動負債合計	14,853	14,972
固定負債		
長期借入金	3,395	3,605
退職給付に係る負債	26	24
その他	1,021	1,009
固定負債合計	4,443	4,638
負債合計	19,296	19,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	7,555	7,473
自己株式	△136	△136
株主資本合計	10,995	10,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	263	211
土地再評価差額金	1,975	1,975
為替換算調整勘定	△57	△41
退職給付に係る調整累計額	29	29
その他の包括利益累計額合計	2,211	2,175
純資産合計	13,207	13,087
負債純資産合計	32,503	32,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,062	4,830
売上原価	4,199	4,207
売上総利益	862	623
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	247	246
福利厚生費	62	62
地代家賃	44	44
退職給付費用	5	3
賞与引当金繰入額	77	80
その他	123	120
販売費及び一般管理費合計	561	559
営業利益	301	63
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	11
持分法による投資利益	79	62
その他	16	30
営業外収益合計	106	104
営業外費用		
支払利息	12	11
その他	0	6
営業外費用合計	13	18
経常利益	395	149
税金等調整前四半期純利益	395	149
法人税、住民税及び事業税	109	40
法人税等調整額	△22	△7
法人税等合計	87	32
四半期純利益	308	117
親会社株主に帰属する四半期純利益	308	117

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	308	117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	△52
退職給付に係る調整額	0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	16
その他の包括利益合計	22	△36
四半期包括利益	330	80
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	330	80

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,913	647	501	5,062	—	5,062
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,913	647	501	5,062	—	5,062
セグメント利益	398	23	61	483	△181	301

(注) 1 セグメント利益の調整額△181百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,883	576	369	4,830	—	4,830
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,883	576	369	4,830	—	4,830
セグメント利益	210	16	28	255	△191	63

(注) 1 セグメント利益の調整額△191百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。